

令和2年度 第8回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:令和2年9月 25 日(金) 11:00~11:30

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:堤副市長、大下教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長

◆審議事項

・令和3年度予算編成方針について……………財政課⇒承認

◆審議概要

『令和3年度予算編成方針について』

〈説 明 者〉西田財政課長、浅野調整主幹、三宅予算担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉方針2点目、改革の視点について。(1)社会情勢の変化に合わせた施策の再構築において、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、長期化する可能性もあり、単年度の予算編成方針ではあるが、長期的視点をもって考えていく必要がある。臨時交付金によって歳入が膨れ上がっており、単年度だけ見ても基本の税政収支がよくわからなくなってしまう。歳出でもサービスが増加しているため、市民の理解を得るのが難しいかもしれないが今後そのサービスの取捨選択が必要になる。(2)市の役割の最適化による、市民サービスの向上と経営効率の改善においては、行政だけの力でなく市民を巻き込む必要がある。そのためにもサービスには対価を伴うということを浸透させる努力が必要。(3)行政サービスのあり方や行政運営体制の徹底的な効率化においては、働き方改革も含め、無駄を省き、「以前から行っている」ということは理由にならないということを財政課からも説明していくように。(4)歳入確保に向けた取組の徹底においては、税外収入は別にしても、限界はある。例えば、庁舎建設についても、少なくとも維持管理の負担を最小限にするなど、歳出抑制を推進するように。また、方針4点目、財源の確保について、起債は一旦歳入とみるが、いずれ返すべき金額なので、財源を考えた上で公債費の起債をするよう歳出の見直しとともにしっかりと考えていくように。

〈教 育 長〉来年度はコロナの影響で税収が落ち込むと予想されている。大阪府では、非常に厳しい財政状況の下で、シーリング又はマイナスシーリングということで、前年度予算要求額(現年度予算)を上回らない又は5%削減した要求をするよう徹底している。そういったことは議論されたのか。

〈財 政 課 長〉現在のところ行っておらず、設ける予定もない。経常的な経費については行革の中で、5%シーリングを行っているが、事業についてはシーリングを行うというよりは個別に財源を

確保する方針とし、市長の判断もあるため、個別に査定をしている。

〈教 育 長〉方針の前段に記載されている「経済財政運営と改革の基本方針 2020」の内容について、「2040 年頃までの課題も視野に入れた持続可能な地方自治体の実現に向けての広域連携や見える化を活用した効率化」とあるが、この説明で読み手は理解できるか。

〈財 政 課 長〉広域連携については、水道の広域化や、貝塚市との斎場の共同運用などを意識している。見える化については、今後財政課としてもどのように進めていくかを考えていく必要がある。確かにこの文章では見えづらいが、いわゆる 2040 年問題として人口減少に伴い職員数は減少する一方、行政課題や新たな社会のニーズが増大していく見込みであり、本市の「健全な財政運営に関する条例」策定の際にも、それらの課題について議論すべき時期に来ており、コンセプトのひとつに据えていた経緯がある。

〈教 育 長〉「2040 年頃までの課題も視野に入れた」という部分について、今後人口減少が続き、今のままでは経済が成り立たないことを表しているということが頭にないと読めない。また、方針6点目について、『重点目指す成果』を十分に意識し」という部分と「全ての事業において『選択と集中』を原則とし、検討すること」というのは直接的には繋がらない。重点目指す成果は全ての事業と結びつかないので、この書き方だと意味がつかみにくい。

〈財 政 課 長〉「意識するとともに」という表現に改める。

〈教 育 長〉企画部門として歳入確保について戦略的に何か方策はあるのか。

〈総合政策部長〉ひとつとしてふるさと寄附がある。

〈教 育 長〉岸和田市のふるさと寄附はどの程度なのか。

〈事 務 局〉大阪府内市町村のふるさと寄附金額を見ると岸和田市は上位 10 位以内に入っている。

〈教 育 長〉市税収入だけで市の事業を賄うのは難しいので、節度を持ったうえで収入確保をすることは大切である。

〈総合政策部長〉職員への説明時、毎年度財政状況が厳しいということは伝えているが、新庁舎の起債償還が始まることなど具体的な内容を入れ、現実味を感じられる説明とすること。また、説明会への参加は課長や庶務担当だが、実際に予算編成を行う担当長などへの意識付けのため、背景なども含め情報共有ができるように。

〈財 政 課 長〉検討する。

〈総 務 部 長〉庁舎の建て替えについて、今後、第2次提案の中でライフサイクルコストも含めて提案をいただく予定なので、本日のご指摘も踏まえ行っていく。事業者選定の最終的な判断は委員会であるが、建て替え後の維持管理経費の増嵩が見込まれるような内容は、基本設計、実施設計の段階で留意して事業をすすめていく。新庁舎が必要な施設であることは疑いのないところである。将来的に高齢化、人口減少が進む中、持続可能な状況で歳入と歳出のバランスをどうとっていくかという議論の中で、施設の問題については、各部署で進められている各公共施設の配置の見直しに期待している。

〈総合政策部長〉本案件について、一部修正のうえ、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案を一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年9月 23 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 財務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和3年度予算編成方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
説明者	西田財政課長 浅野調整主幹 三宅予算担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第8回会議
付議事項	令和3年度予算編成方針について

★取組の目的

対象	職員
どのような状態を目指す	令和3年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

★総合計画上の位置付け

202020201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②計画的に財政運営が行われている
	行政の役割	ア 中長期の視野に立ち、効果的・効率的な財源配分を行う

★現状と課題

令和3年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費				計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	目標値							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。